

見学会

研究員の講義と埋立処分場見学会

2026年8月14日 場所：環境局中防合同庁舎



8月14日（金）、公益財団法人東京都環境公社が実施する「学生向け講義および埋立処分場見学会（エネルギー・脱炭素分野）」に本校生徒が参加いたしました。本企画は、次世代を担う生徒たちが環境関連の研究職や廃棄物処理の現状を知り、自身の進路や将来を考える機会とすることを目的に開催されました。第一線で活躍する専門家のお話を直接伺い、実際の施設を見学することで、脱炭素社会に向けた課題を実感し、多角的な視野を育む有意義な学習の場となりました。

■ 見学・研修内容

1. 研究員による講義（エネルギー・脱炭素分野）

研究員をお招きし、エネルギー・脱炭素分野における最新の研究やキャリア形成についてご講義いただきました。

●「勉強」と「研究」の違い

知識を身につける「勉強」に対し、「研究」は自ら未知の問いを立てるプロセスであると教わりました。固定観念にとらわれず、探求心と公益性を両立させながら社会課題に挑む姿勢に、生徒たちは深く感銘を受けていました。

●研究現場の実際と課題解決

膨大なデータを扱う研究現場では、社会の要請を踏まえて区切りをつける「計画的な判断」や「見通しを持った配置」が求められることを学びました。また、行き詰まった際の対処法や最新ツールの活用など、実践的なお話も伺いました。

2. 埋立処分場・廃棄物処理施設見学

講義と映像学習ののち、実際の埋立処分場および廃棄物中間処理施設を見学しました。都市部におけるごみ処理から資源化、環境保全への取り組みを段階を追って確認しました。また、物理的な特性が現場の構造にどう応用されているかなど、現実社会における技術の活用事例にも触れ、適切に整理された都市基盤を支える仕組みについて理解を深めることができました。

